

第1号議案

平成21年度

事業計画



(財)横浜市体育協会は2009年に創立80周年を迎えました



平成 21 年度事業計画

当協会を取り巻く社会経済環境は、引き続き不透明で、横浜市においても非常に厳しい財政状況が続くと予想されます。一方内部環境においても、平成 20 年 12 月 1 日に公益法人関連法令が施行され、当協会も自動的に特例民法法人へ移行しました。当協会は、法施行から 5 年間の経過期間内である平成 21 年度中に公益財団法人への認定申請を目指し、新法に適應した内部組織の強化や効果的に業務を遂行できる組織体制づくりを引き続き図っていきます。

横浜市との「特定協約」も 3 年目を迎え、協約目標の最終局面に向けた取り組みが求められています。また、「中期経営計画」においても中間年となり、平成 22 年度での中期経営目標達成が見込める水準の実現を達成していかなくてはなりません。そのため、前例踏襲にとらわれずこれまで以上に、競技スポーツの普及振興とともに「生涯スポーツ社会」の実現に向けた取り組みを積極的に行い、急激な社会状況の変化や多様な市民ニーズに応えられる事業を展開していきます。

第一は、競技スポーツの推進事業です。体育協会創立 80 周年・横浜開港 150 周年にあたる平成 21 年度は、体育協会を広く市民へアピールする機会と捉え、記念事業はもとより各種事業を実施します。また、大規模イベントの開催や誘致とともに「H.I.S.2009 年世界卓球選手権横浜大会」及び「2009 横浜国際トライアスロン大会」等の開催に向けて横浜市と一体となり成功に向け取り組んでいきます。

第二は、スポーツ支援事業の実施です。スポーツを通じて市民の幸せな暮らしを支えるため、誰もが身近な場所で気軽にスポーツに触れ合うことのできる環境を整備します。

第三は、高齢者が健康で潤いのある生活を続けていけるよう、また、子どもの体力向上や健康づくりを実践することのできる環境を整備します。

第四は、スポーツ人材の育成事業です。地域や各種目で活動するスポーツ指導者を養成するとともに、各個人の能力に応じた活動促進を図ります。

第五は、スポーツ施設の指定管理 27 施設及び屋内プール等の施設管理運営です。指定管理施設は、制度導入 4 年目となり、提案書の内容実現に向け最終局面を迎えています。また、新横浜公園（日産スタジアム等）は、次期指定管理者の応募選定の年を迎えます。そのため、全ての施設において、従来からの枠組にとられない新しい取組を通して、市民ニーズに即応した、柔軟かつきめ細かいサービスの提供を図り、効率的・効果的かつ、市民が安全・安心・快適に利用できる施設の管理・運営を行います。

その他、市民の健康づくりへの関心を高めるため、横浜市内のスポーツ情報を収集し、インターネットや情報誌等の媒体を活用しての情報提供を行うほか、市民スポーツ振興の目的を達成するため各種事業を実施していきます。

以上の事業を実施するにあたっては、競技団体・区体育協会・地域スポーツ団体等と協働し、地域スポーツ活動を推進してまいります。併せて、効果的で効率的な事業推進を目指し、自主・自立的な財団運営に向けて、積極的に自主財源確保を図ってまいります。

1 競技スポーツの推進事業（寄付行為第4条第1項第2号、第3号、第6号、第9号）

競技スポーツの普及振興を図るため、横浜マラソン大会ほか、各種大会の開催や、協会主催の大会以外にも選手・団体を派遣します。

また、横浜開港 150 周年を記念した国際大会の開催支援を行ってまいります。

（1）協会創立 80 周年・横浜開港 150 周年記念事業

協会創立 80 周年の年を迎え、加盟団体や関係団体、市民への感謝の意を込めると共に、これを契機に、体育協会を広く市民にアピールし、存在意義を高めていく機会となるよう、記念イベントをはじめ各種事業を実施します。

事業の実施にあたっては、加盟団体との協働や開港 150 周年記念事業との相乗効果、市民への還元を基本の考え方とし取り組んでいきます。

創立 80 周年 記念式典の開催及び記念誌の発行

- ・創立 80 周年記念式典 （10 月）
- ・創立 80 周年記念誌の発行（ " ）

創立 80 周年記念加盟団体助成事業

加盟団体の提案により既存の事業とは異なる 80 周年記念に相応しい記念事業を実施します。

市民体育大会・市民マスタース大会への助成の拡充

「協会創立 80 周年」「横浜開港 150 周年」の気運を盛り上げるため、今年度は 2 大会への助成を拡充します。

加盟団体と市体協との協働

市体協や体協加盟団体が実施する事業に「協会創立 80 周年」「横浜開港 150 周年」の冠を掲げ、大会要項やプログラムにロゴマークを掲載するなど、「協会創立 80 周年」「横浜開港 150 周年」を P R します。



- ・横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル
- ・ロゴマーク・キャッチコピーの掲載
- ・ノベルティの製作・配布
- ・2009 横浜国際トライアスロン大会 P R パネルと横浜スポーツの歴史の巡回展示
- ・総合型地域スポーツクラブ連絡協議会との協働イベント
- ・横浜熱闘倶楽部市民招待事業の拡大

市民参加型記念イベント

「協会創立 80 周年」「横浜開港 150 周年」の感謝の気持ちを込めて、市民参加型の記念イベントを開催します。

- ・1000 万人ラジオ体操・みんなの体操祭（8 月）
- ・体協フェスタ@y o k o h a m a（9 月）
- ・横浜体協ウォーキング（2 月）
- ・さわやかスポーツフェスティバル（3 月）



横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル

(2) 各種スポーツ競技大会の開催

市民が気軽に参加できるよう横浜マラソン大会やビーチフェスティバル等各種大会を開催します。

都市間交流スポーツ大会（開催地：大阪）

横浜マラソン大会

市民体育大会・市民マスターズスポーツ大会

Y O K O H A M A ビーチフェスタ 2009(8 月)

・ビーチバレー

・ビーチサッカー

・ビーチハンド

各区交流スポーツ大会



第 28 回横浜マラソン大会

(3) 各種大会への選手派遣・参加

協会主催の大会以外にも、選手・団体を選考・派遣します。

神奈川県総合体育大会

市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会（2月）

全国健康福祉祭大会(ねんりんピック)参加選手選考

(4) 国際大会の開催支援（横浜開港 150 周年記念事業）

H.I.S.2009 年世界卓球選手権横浜大会

4月28日から5月5日まで横浜アリーナで開催される

「H.I.S.2009 年世界卓球選手権横浜大会」事務局を横浜

市や日本卓球協会と共に担い、市民にトッププレーヤー

たちの試合を観戦する機会を提供すると共に市民と元代

表選手等との交流イベント等を開催し大会を盛り上げます。

2009 横浜国際トライアスロン大会等

最高グレードのワールド・チャンピオン・シリーズ

（世界選手権シリーズ）」の第7戦に位置付けられた

「2009 横浜国際トライアスロン大会」（8月22・23日）

は、山下公園を中心に開港にゆかりのある特設コース

で開催されます。また、こどもを対象にした世界初と

なる「キッズトライアスロン大会」（8月23日）は、山

下公園や山下ふ頭を中心に開催されるとともに、国際オリンピック委員会（I O C ）

が後援をする「世界こどもスポーツサミット in 横浜」（8月21日）は、パシフィコ

横浜会議センターで行われます。これらの3つのイベントに横浜市と一体になって

成功に向けて取り組んでいきます。



日本代表選手団



トライアスロン

2 スポーツ支援事業（寄付行為第4条第1項第2号）

スポーツを通して市民の幸せな暮らしを支えるため、誰もが身近な場所で気軽にスポーツに触れ合う環境を整えることを目的にスポーツ支援事業を展開します。

(1) 地域スポーツ支援事業の実施

区体育協会との連携の強化

区体育協会との連携の強化を図り、地域でのスポーツ振興を支援します。

総合型地域スポーツクラブの支援

クラブの設立準備や設立初期の経費補助をはじめ、クラブが安定的に活動していくための支援を行います。また、今年度から市内全クラブが協力し活動展開を推進することを目的として発足する「横浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」へのサポートを実施し、市域でのクラブ支援や啓発活動を展開し、加盟クラブの事業活性化や総合型地域スポーツクラブの認知度向上を目指します。

人材の養成、育成及び活用

地域における幅広いスポーツ活動を支えるため、区単位で優秀で信頼のある指導者をコーディネートする人材活用システムを充実させるとともに、多様化するニーズに対応でき得るスキルの向上と、より多くの場で活動していただく機会を創り出すため、同システムの認知度向上に努めます。

(2) スポーツイベントの実施

スポーツの普及振興のため、各種スポーツイベントを開催します。

ヨコハマ・スポーツ・ワールド 2009 の開催 (5 月 5 日 こどもの日)

- ・ファンケルフィットネスヨコハマ 2009
- ・ヨコハマ・ワールド・ウォーク 2009



ファンケルフィットネスヨコハマ



ヨコハマ・ワールド・ウォーク

横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催(10 月体育の日他)
各区スポーツセンター・市内の野外活動施設及び大規模施設等において、市民が気軽に各種スポーツに参加できる「横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル 2009」を開催します。特に、今年度は加盟団体と連携し、開催場所を拡大し開催します。

エンジョイスports事業 (市民スポーツ教室の開催)

市民にいろいろな種目の競技スポーツに親んでいただき愛好者の増大を目指すため、加盟競技団体と共にスポーツ教室を開催します。



ヨット教室



乗馬教室

(3) さわやかスポーツの実施

子どもから高齢者まで、誰でも気軽に行えるさわやかスポーツ(インディアカ・グラウンドゴルフ等)の普及事業を全市的に展開し、市民のスポーツ実施率向上を目指すとともに、スポーツ実施に係るノーマライゼーションを推進します。

特に今年度は、普及事業の継続的發展を目的とし、さわやかスポーツフェスティバルの中で市レベルとしては初のグラウンドゴルフ大会を開催します。



さわやかスポーツ

3 健康・体力づくり事業(寄付行為第 4 条第 1 項第 6 号、第 9 号)

スポーツの普及・振興を図り、市民の豊かな生活を目指すため各事業を実施します。

(1) 高齢者の健康づくり支援

高齢者健康維持・増進体操教室等の開催

介護予防体操事業への職員派遣

はまちゃん体操普及事業及びテキスト・ビデオ・DVD・CDの販売



(2) 子どもの体力向上支援

小学校の中休み時間における児童の教室外での運動を支援する事業等、子どもの体力向上支援の事業を行います。

いきいきキッズモデル事業

小学校中休み時間等を活用して、気軽に外遊びができるプログラムを紹介するなどにより、遊びを通じた基礎体力作りの機会を提供したり、保護者や地域への啓発事業を実施することにより、子どもの体力向上をめざします。



いきいきキッズモデル事業

横浜市ジュニア・部活動サポート事業

(3) ぜんそく児童の健康づくり事業

ぜんそくの児童を対象としたサマースクール事業を、医師会、小学校等の協力を得て実施し、児童の健康づくり、体力づくりを図ります。

4 スポーツ人材の養成・育成・活用事業(寄付行為第 4 条第 1 項第 2 号、第 6 号)

地域や各種目で活動できるスポーツ指導者を養成するとともに、指導者の活動促進を図ります。

(1) スポーツ指導者養成事業の実施

横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座の開催

- ・健康・体力づくりインストラクター養成講座
- ・地域クラブアシスタントマネージャー養成講座
- ・野外活動指導者養成講座

- ・スポーツリーダー講習会
 - ・地域スポーツ研修
- 競技指導者養成講習会(コーチングセミナー)の開催
指導者技術向上補助事業の実施



地域スポーツ研修

- (2) スポーツ指導者の活動促進
スポーツ指導者の指導スキルを向上させるためシンポジウム等の研修を行います。

(3) ジュニアスポーツの推進

スポーツ少年団

市内のスポーツ少年団を対象に、研修・交流事業、市民向け事業、県スポーツ少年団主催のスポーツ交流大会への派遣事業等を行います。

ジュニア競技者養成事業の実施

ジュニアスポーツ選手の養成のため強化練習やスポーツ医科学に基づくプログラムを行います。

- ・向上事業
- ・SPS事業

5 スポーツ施設管理・運営事業(寄付行為第4条第1項第2号、第7号、第8号)

横浜市の財産であるスポーツ施設を効率的・効果的かつ、市民が安全に安心して快適に利用できる運営・管理を行っていきます。

(1) 横浜市スポーツセンター

スポーツセンター17館において、区民大会やスポーツ団体の大会として利用促進を図るとともに、個人のトレーニング等のスポーツ施設として区民が身近なところで気軽にスポーツを楽しみ、健康の保持増進に努めることのできるよう、スポーツ・レクリエーション活動の普及振興に寄与します。



トレーニング室

教室の特徴としては、文科系教室(定期教室・イベント)を全施設で開催します。

また、指定管理者として施設の立地環境・ニーズ等を踏まえた事業を展開し、コスト削減を図るとともに、サービスの向上や効率的な広報活動により市民のスポーツ実施率を向上させます。さらには地域のスポーツ関係団体や関係者との連携強化、安全安心な施設を維持するための設備点検強化を図ります。

(2) 横浜市平沼記念体育館

小規模の各種スポーツ大会の開催に適した施設として、積極的な情報提供による団体利用の促進を図るとともに、室内シューズやビブスなどのレンタル事業を充実させることで利便性の向上を図り利用しやすい施設を目指します。



フットサル大会

(3) 横浜市少年自然の家

赤城林間学園（群馬県）及び南伊豆臨海学園（静岡県）において、海や山などの恵まれた自然環境を生かした自然観察や創作活動などを組み込んだ野外活動プログラムを提供し、青少年の健全育成はもとより、幅広い市民層へ野外活動の普及振興を図ります。そのために、学校、青少年団体のほか、家族・グループに開放し、冬季の利用促進を図ります。

また、野外での体験キャンプやファミリーキャンプ、ハイキング等の野外活動教室の開催をはじめ、地元食材を生かした特別料理、シーカヤックの用具レンタルなどの自主事業を実施します。



シーカヤック（南伊豆）

(4) 横浜市青少年野外活動センター

市内の三ツ沢公園（神奈川区）、くろがね（青葉区）及びこども自然公園（旭区）の身近なセンターと、市外の道志村（山梨県）のセンターにおいて、自然体験や野外活動、テント生活などのプログラムを提供し、青少年の健全育成はもとより、幅広い市民層へ野外活動の普及振興を図ります。そのために、育児サークルや地域グループ、家族などの日帰り利用に開放し、施設の利用促進を図ります。

また、幼児から大人までの幅広い市民層に対応した体験キャンプやファミリーキャンプ、スポーツ活動等の野外活動教室の開催、野外炊事用の食材販売などの自主事業を実施します。



野外活動風景（道志）

(5) 横浜文化体育館

横浜・開港 150 年記念イベントである、ポリショイサーカスや大相撲横浜場所、第 17 回ロボットコンテストや 2009 国際ジュニア体操競技選手権大会等、国際クラスのイベントから幼児・高齢者まで市民レベルの各種イベントまでバランスよく開催できるよう市民活力向上の一翼を担います。

また、卓球や体操等のスポーツ教室に加え、絵画、書道、生花、英会話等のカルチャー教室等、アンチ・エイジング応援プログラムを実施し、幅広い市民ニーズに応えます。



大相撲横浜場所

(6) 新横浜公園/日産スタジアム等（指定管理事業・自主事業）

指定管理事業は、横浜市体育協会を代表団体として、横浜マリノス・管理JV（ハリマビステム他4社共同企業体）の3者が共同事業体を組織し、サッカーワールドカップなど市民に夢と感動を与えることのできる「見るスポーツ」の国際大会を誘致するとともに、各種施設を活用した地域スポーツの振興や市民の健康・体力増進等に貢献するため、新横浜公園内の施設運営を行います。

さらに、フリーマーケットでのカーボンオフセット、スタジアム内でのリユースカップの使用推進及び平成21年2月に取得したISO14001の運用など、環境に配慮した「エコスタジアム」としての取り組みを推進します。

日産スタジアム（第1種公認陸上競技場）

国内最大の7万人を収容できるスタジアムの特色を活かし、サッカー、陸上競技等の国際試合等を積極的に誘致・開催します。また、大会以外でも、「コンサート」やイベント等を開催し、施設の有効活用を図ります。



日産フィールド小机（第3種公認陸上競技場）

日産ウォーターパーク（温水利用型健康増進施設）

しんよこフットボールパーク（JFA公認人工芝コート）

北側園地運動施設（野球場・運動広場・運動広場2（21年夏オープン予定）
投てき練習場・テニスコート）

スケボー広場・インラインスケート広場1～2・バスケットボール広場

自主事業では、新横浜公園全体を使用する大型イベントであるサイクルパークフェスティバルやスタジアム駅伝大会を開催するほか、市民が参加できる陸上教室（NSAA（日産スタジアム・アスレティクスアカデミー）、サッカー教室、ラクロス・スケボー・インラインスケート教室等など）を通じて、健康づくりと競技レベルの向上を図るほか、横浜マリノス(株)や地域、学校、団体等との緊密な連携によるイベント事業（マリノス戦開催時スタジアムブース出店、新横浜パフォーマンス）、市民提案型環境事業（さくら草プロジェクト、ホテルの里育成プロジェクト、新横浜生き物探偵団）などの各種事業を実施いたします。



（7）横浜市スポーツ医科学センター

市民の健康づくりの推進・スポーツの振興・競技選手の競技力の向上を目的に、クリニック（内科・整形外科・リハビリテーション科）、大・小アリーナ（体育館）、25mプール、トレーニングルーム、研修室などを併設した施設の運営を行います。

スポーツプログラムサービス（SPS）

医学的検査・運動負荷試験・体力測定の実施結果により、生活・栄養・運動について、医師・管理栄養士・スポーツ科学員などの専門スタッフがアドバイスを行うスポーツ版人間ドックを実施します。



クリニック（内科・整形外科・リハビリテーション科）

運動負荷試験

一般的な内科・整形外科の診察からトップアスリートに対する診察まで、スポーツドクターなどの資格を持つ医師が診察を行います。また、内科・整形外科ともに疾病の予防・改善や症状の緩和・消失に運動療法を積極的に取り入れていきます。

特定健康診査については、制度の浸透と共に受診者数の増加が予想されますので、安定して受け入れられる体制を構築していきます。

メディカルエクササイズコース（MEC）

内科的・整形外科的疾患を抱え、積極的に運動することで改善が望める方を対象にした医学的運動療法教室です。アリーナ・プールの2コースがあり、医師の運動処方に基づいて、専門の資格を持つ指導員が運動指導を行います。



MEC（プールコース）

教室事業

1年間を通じて体操・水泳・トレーニングのスポーツ教室を開催します。また1年を4期に分けて太極拳・フラダンス・社交ダンス・ヨガなどの健康教室、医師などの専門スタッフの下で安心・安全な減量を行う減量教室や測定結果から分析して姿勢・歩き方を改善するスポ医科ウォーキングなど、目的に応じた教室も開催します。

その他

- ・研修室・会議室、大・小アリーナの貸出
- ・トレーニングルーム、25m プールの個人利用
- ・アスリートに対する動作分析・スキルチェック・専門的体力測定の実施
- ・広報誌やホームページを通してスポーツ医科学情報を提供
- ・スポーツ医科学に関する研究及び研究成果の学会等での発表
- ・各区スポーツセンター等でのスポーツ医科学に関する講演

（8）屋外・屋内プール

スポーツ・レクリエーション活動を通して市民の健康増進に寄与するため、屋内プール6施設（旭、港南、栄、保土ヶ谷、都筑、リネツ金沢）、屋外プール2施設（横浜プールセンター、本牧市民プール）を運営します。



港南プール

安全快適に、ご利用いただくよう施設設備の安全管理・点検に努めます。また、屋内プールについては、教室の充実や健康器具の設置、屋外プールについては、プールを安全に利用していただくための講習会や親子で参加できるイベントを開催するなど施設の魅力アップを図ります。

（9）鶴見川漕艇場

水上スポーツ・レクリエーションの場として、ボート・カヌー等の利用ができる施設の管理運営を行います。

また、市民がボート・カヌー体験のできる教室を開催するなど、より多くの市民にスポーツの振興を図ります。



カヌー教室

（10）テニスガーデン

緑テニスガーデン（10面）、根岸テニスガーデン（9面）及び泉中央テニスガーデン（11面）において、テニススクールの開催及び貸しコートの運営を行い、市民のスポーツの普及振興に努めます。また、ジュニア及び一般初級者から上級者など利用者のニーズに合わせたテニススクールを開催するほか貸しコートの利用においても積極的なPRにより、利用促進を図ります。

(11) 横浜みなとみらいスポーツパークの運営

みなとみらい 21 地区において、サッカーを中心としたフィールド系スポーツ(サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール等)の拠点となる横浜みなとみらいスポーツパークの運営を行い、市民スポーツの振興を図ります。

一般の利用とともに、関係団体との連携を深め、大会・イベントの誘致を図り、更なる利用促進に努めます。



みなとみらいスポーツパーク

6 スポーツ情報の収集・提供(寄付行為第4条第1項第4号、第5号)

横浜市スポーツ情報センターにて、スポーツ情報を収集・案内するほか、スポーツ情報サイト及びスポーツ情報誌を通じて、市民へのスポーツ情報の提供を行います。

(1) スポーツ情報サイトの運営・拡充

スポーツ情報サイト「ハマスポどっとコム」により、スポーツ情報を幅広く掲載・提供し、市民や閲覧者におけるスポーツや健康づくりへの関心を高めるとともに、運動実施率の向上を図ります。

特に、協会創立 80 周年及び横浜開港 150 周年を記念して、数多く開催されるスポーツイベントの事前周知等を行うほか、横浜に関わるスポーツ史の紹介なども行います。

検索型コンテンツ

スポーツ施設やサークル、教室・大会等の案内や結果、指導者紹介などの情報を提供します。

よみもの系コンテンツ

スポーツ情報センターによる取材結果や市民からの投稿記事を、写真や動画を使って発信するほか、著名人によるコラム、横浜にまつわるスポーツ史、市体協イメージキャラクターによるスポーツ漫画、健康コラム、食育記事などを掲載し、市民・閲覧者にスポーツの楽しさと健康維持の大切さを伝えます。

市民参加型コンテンツ

市民の市民による市民のためのスポーツ情報の活性を促すほか、SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)を展開し、スポーツによるコミュニケーション作りに寄与します。



横浜のスポーツを応援するために、平成21年度もキャプテンわんは大活躍します!

(2) スポーツ情報誌の発行

老若男女問わず易しく読めるスポーツ情報誌「SPORTSよこはま」を年6回発行し、市内各駅や公共施設等で無料配付します。

市民に役立つスポーツ情報や、季節に即した健康増進のためのテーマに基づいて、編集・発行します。

市体協加盟団体のイベント等の事業の紹介や報告

市体協関連イベントの紹介や報告

横浜熱闘倶楽部の3チームの選手や関連イベントの順次紹介



独自に取材・編集した特集記事の掲載
読者参加型企画の連載
スポーツ医科学センターの協力による健康関連情報の掲載
その他市民にとって有意義なスポーツ関係情報の掲載

(3) スポーツに関する調査研究

市民スポーツ意識調査等のスポーツに関係した調査・研究を行い、新たな事業企画等に活用します。

7 スポーツ団体等の育成事業（寄付行為第4条第1項第1号、第2号、第3号）

その他市民のスポーツ振興の目的を達成するために様々な事業を実施します。

(1) スポーツ振興基金の運用

よこはまスポーツ振興基金の運用

かながわ・ゆめ国体横浜市実行委員会からの寄付金を基に設置した「よこはまスポーツ振興基金」を横浜市、学識経験者等で構成する運営委員会に諮り、各種スポーツ・レクリエーション団体の事業に助成し、幅広い市民スポーツの振興を図ります。

ワールドカップ決勝戦開催記念基金の運用

横浜市からの補助金を基に、「2002 F I F Aワールドカップ」の決勝戦開催を記念した基金を、横浜市、(社)横浜サッカー協会等とともに構成する運営委員会により運用します。

(2) 加盟団体への助成

加盟団体の事業に対し運営費・事業費の補助を行います。

(3) 横浜熱闘倶楽部

市民スポーツの振興を図るため、市民とともに、地元プロスポーツチーム（横浜ベイスターズ、横浜F・マリノス、横浜FC）の応援を行います。特に、次代を担う青少年に夢や目標を与え、市民の連帯感の醸成と地域の活性化、市民が誇れるプロスポーツチームが育つ街を実現することを目的とした横浜熱闘倶楽部の事務局を担います。

主な事業

- ・公式戦への市民招待・区民招待
- ・少年野球教室の開催
- ・少年サッカー教室の開催
- ・サッカーアカデミーの開催
- ・横浜熱闘フェスタの開催
- ・各種広報PR事業



横浜熱闘フェスタ



(4) 交流・顕彰事業

市民のスポーツ活動の啓発を図るため、交流事業及び表彰事業を実施します。

交流事業

横浜市のスポーツ関係者の交流促進のため、「新春横浜スポーツ人の集い」を開催します。(1月)

スポーツ表彰事業

各種スポーツ大会において、顕著な成績をおさめた個人・団体やスポーツ振興に寄与した個人を表彰する横浜スポーツ表彰を実施します。また、教育委員会表彰等の各種表彰への推薦を行います。



新春横浜スポーツ人の集い

(5) 教育施設協力町村児童受入れ事業の実施

少年自然の家等が設置されている、昭和村(群馬県) 南伊豆町(静岡県) 道志村(山梨県)の各町村の児童に横浜の様子や歴史を学んでもらうことで、各町村との交流を深めることができる事業を行います。



日産自動車横浜工場見学

8 その他事業(寄付行為第4条第1項第9号)

(1) 危機管理体制の取り組み

市民が安全・安心・快適に施設利用ができるよう、市民の身近なスポーツセンター等の施設利用に対する日常の危機管理体制を整えるとともに、日産スタジアムや横浜文化体育館等のイベント開催時及び開港150周年記念事業として「H.I.S.2009年世界卓球選手権横浜大会」、「2009横浜国際トライアスロン大会」等の開催時の危機管理体制を強化してまいります。

(2) 財政の確立

各種事業の一層の充実と発展を図り、事業推進の社会的な意義・役割を果たすために安定した財政基盤の拡充を図っていきます。

(3) 社会的責任への取り組み

コンプライアンスの推進により、内部監査の実施による個人情報保護マネジメントシステム(JIS15001の基準により、個人情報保護法を上回る取組み)の継続を含めた事務事業の適正執行を監査し、PDCAサイクルに則った行動改善を進めています。特に、外部監査の実施、職員行動基準の明示などにより、組織の内部管理水準を高めます。

(4) 駐車場の運営

横浜アリーナに近接する新横浜駐車場他、7箇所の駐車場の運営を行います。